

# 新たな備えサポート隊 in 松山

## 2025 年度活動報告書

2025 年 12 月

「新たな備えサポート隊 in 松山」実行委員会事務局

### 目次

1.	活動の経過 .....	2
1-1	新たな備えサポート隊 .....	2
1-2	新たな備えサポート隊 in 松山 .....	3
2.	新たな備えサポートー養成研修 .....	4
2-1	募集要項 .....	4
2-2	サポートー養成の流れ .....	5
2-3	動画視聴研修 .....	6
2-4	実技講習会 .....	7
3.	新たな備えサポートーの派遣 .....	8
3-1	サポートー派遣の経緯 .....	8
3-2	サポートー派遣の流れ .....	8
3-3	サポートー派遣実績 .....	10
4.	防災アセスメント .....	11
5.	活動の感想・評価 .....	14
5-1	活動の感想（支援世帯） .....	14
5-2	活動の感想（サポートー） .....	15
5-3	活動の評価 .....	18
6.	参考資料①（メディアでの紹介） .....	19
7.	参考資料②（募集チラシ） .....	20

## 1. 活動の経過

### 1-1 新たな備えサポート隊

コロナ禍を経て、避難所での受入や運営ルールが大きく変化し、避難所が中心だったこれまでの支援から、自宅で安心して過ごすための取り組みへ防災の軸を変える必要が生じている。

新たな事態に対応するため、自宅を訪問して「在宅避難」に向けた家具転倒防止や備蓄支援、「屋外避難」や「疎開避難」のための備えの提案を行う「新たな備えサポート隊」を編成し、自力で「新しい避難」ができない高齢世帯等での備えを強化することで、誰もが「新しい備え」への対応が可能になる取り組みを構想した。

#### 【コロナ禍で生じている新たな動き】

##### 避難所での密を避けるための「新しい避難」

- ①在宅避難 自宅が安全な場合は自宅にとどまる
- ②屋外避難 車中泊・テント泊による屋外での避難
- ③疎開避難 被災しない親戚や知人宅への避難

##### 避難所もマニュアルや施設・設備の見直しが急務

- ・ ソーシャルディスタンスを確保するための収容人員の削減
- ・ 外来者と接触機会を減らす配置も必要
- ・ 感染疑いのある避難者専用のスペースの確保

#### 【懸念される新たな課題】

##### 「新しい避難」で生じるリスク

自宅での備えが自力では困難な高齢者等  
車中泊・テント泊での災害関連死の予防  
域外避難した世帯の実態が把握できない

##### 避難所での新たなリスク

- ・ 独居高齢者など自立が難しい世帯が  
避難者の多数 = 助け合いが困難
- ・ 外部からの支援が入りにくい

### 新たな災害対応と課題

#### ①「新たな備え」の啓発活動

4つのステップで知る「新たな備え」のためのチェックシートを配布

店頭や防災イベント等で配布・掲出し、新しい避難様式に対応した備えを促す

##### 1.危険予知

自宅で危険な箇所や  
備蓄の過不足をチェック

##### 2.安全確保

転倒防止や食糧の準備等  
必要なポイントを整理

##### 3.備蓄準備

世帯人数や特性をもとに  
必要な器具や物資を計算

##### 4.備え完了！

必要な器具の設置と備蓄の  
見直しで「新たな備え」を完了

#### ②「新たな備えセンター」の育成

「新たな備え」を助言し、必要な備品の購入や設置を支援するセンターを育成

→ オンライン研修（動画視聴・30分）と理解度テストを受験、合格した人向けに

店頭や臨時会場で実技講習（60分程度）を実施

→ 修了者を「新たな備えセンター」に認定、防災イベント等で活躍するほか、

「サポート隊」を編成し支援が必要な世帯へ派遣

#### ③サポート隊の派遣

高齢者等支援が必要な世帯を訪問し、「災害発生直後の命を守る」ための備えをサポート

→ サポート隊3人ひと組からなる「サポート隊」を編成し、希望する世帯を訪問

→ 訪問時の様子など行政等による災害時の見守りに必要な情報をフィードバック

### 新たな備えサポート隊の活動内容

## 1-2 新たな備えサポート隊 in 松山

社会の要請に則した新たな備えの啓発を行い、同時に対象世帯をサポートしていくためのより確実性の高い“ネットワークの構築”と“支援策”を適えるための産官学民の地域全体での取り組みを 2022 年より愛媛県松山市で実施している。その経過を以下に述べる。

2022 年、DCM 株式会社が発起人となって、愛媛県松山市で地元企業等を中心とした実行委員会が同年 6 月 27 日に発足し、一般財団法人ダイバーシティ研究所が事務局を担当した。7 月 25 日には、愛媛県松山市、愛媛大学防災情報研究センターと事業協定を締結<sup>1)</sup>し、産官学民協働による事業として取り組み、松山市内の 56 世帯に対して防災用品の提供等を実施した (2022 年度報告書 <https://sonaetai.net/img/SonaeSuppor2022report.pdf>)。



事業協定調印式（2022 年 7 月 25 日）<sup>1)</sup>

左より愛媛大学防災情報研究センター（バンダリ・ネトラ・プラカシュセンター長）、愛媛県松山市（野志克仁松山市長）、実行委員会（発起人：DCM 株式会社 中川真行取締役）

2024 年も従来と同様の体制のもと、諸改善を行った上で、102 世帯への防災用品等提供の活動ができた (2024 年度報告書 <https://sonaetai.net/dl/SonaeSuppor2024report.pdf> )。

2025 年度においても同様の体制で実施し、より多くの世帯への支援ができるよう取り組んだ。活動概要を以下に述べる。

名 称	新たな備えサポート隊 in 松山
目 的	① 災害の多発化やコロナ禍で求められる「新たな備え」の必要性を広める ② 「新たな備え」について知識と技術を持った人材「新たな備えサポート隊」を育成する ③ 高齢者など自力で「新たな備え」が難しい世帯へサポート隊を派遣し、自宅での備えを支援する
日 時	2025 年 5 月 ~12 月（うち、サポート隊の派遣は 10 月）
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>「新たな備え」の考え方や支援が必要な世帯についての基礎知識を学ぶ「オンライン研修プログラム」の提供（8 月から受講開始）</li><li>高齢者等支援が必要な世帯を訪問し、支援計画の立案・支援の提供を行うための「実技講習プログラム」の提供（9 月に開催）</li><li>松山市役所等を通して支援希望世帯を広く募り、申し込みのあった世帯から対象とする 100 世帯を訪問して支援計画を策定（8 月に実施）</li><li>支援計画に沿ってサポート隊を派遣（10 月実施）</li><li>支援の提供や訪問時に行ったヒアリング等から、「新たな備え」に向けた課題や今後の取り組みについて提言を発表（12 月を予定）</li></ul>
主 催	新たな備えサポート隊 in 松山実行委員会
<構成団体>	(株)あいテレビ、(株)伊予銀行、NTT 西日本(株)、愛媛県中予地区郵便局長会、(株)愛媛 CATV、(株)愛媛新聞社、愛媛トヨペット(株)、(株)門屋組、(株)輝城、コカ・コーラボトラーズジャパン(株) 愛媛支店、ソフトバンク(株)、(株)ダイキアクシス、(一財)ダイバーシティ研究所、(株)寺小屋グループ、DCM(株)、東京海上日動火災保険(株) 愛媛支店、(株)トヨタレンタリース西四国、南海放送(株)、三井住友信託銀行(株) 松山支店 (2025 年度構成団体・50 順)

### 新たな備えサポート隊 in 松山 2025 年度実施計画・体制

<sup>1)</sup> [https://www.dcm-hldgs.co.jp/grp/pdf/grp/csr/csr\\_sonaesappor.pdf](https://www.dcm-hldgs.co.jp/grp/pdf/grp/csr/csr_sonaesappor.pdf)

## 2. 新たな備えサポート一養成研修

### 2-1 募集要項

「新しい避難」が難しい高齢者等の世帯に対し「在宅避難」に向けた家具転倒防止や備蓄支援の提案を行う「新たな備えサポート隊」として、養成研修を受け「新たな備えサポート一」として認定された者を派遣した。原則として防災士、大学生等を募集対象とし、複数名で訪ねることで、より効果的な訪問となることを図った。

以下に該当する方を募集します。

1. 「新たな備え」に賛同し、活動に協力してくださる方
2. 以下の有資格者または所属の方（カッコ内は求められる役割）
  - ・防災士（防災の知識を生かして訪問宅のリスクを評価、必要な備えを助言する）
  - ・大学生（サポート隊での経験を活かして地域防災の担い手となる）
3. 2025年10月に愛媛県松山市において活動可能な方（原則として土、日曜が活動日）
4. 所定の研修プログラムを受講し、修了できる方

サポート一は以下の流れに沿って活動いただきます。

#### 1. サポート一の申込み

- ① サポート一を希望される方は、QRコードを読み込み、空メール（件名、本文なしのメール）を送信してください。（または直接 matsuyama@sonaetai.net へ空メールを送信）
- ② 登録用WebフォームのURLを自動返信メールで通知します。必要事項（氏名、連絡先、実技研修の受講希望日、活動希望日など）を入力後、送信ボタンを押すとサポート一の申込みが完了します。

#### 2. オンライン研修プログラムの受講

- ① サポート一の申込み後、研修動画視聴サイトのURLを自動返信メールで通知します。
- ② 研修動画視聴サイトより各自、動画（合計約30分）を視聴し、活動に関する基本的な事柄を学び、自己採点によるテストを受講します。
- ③ テストの自己採点後、研修完了ボタンを押すとオンライン研修が完了します。

#### 3. 実技講習プログラムの受講

- ・ 対面式による実技講習（9月27日（土）、28日（日）、29日（月）の午前（27日は午前開催無し）または午後いずれか、2時間程度（松山市美沢1-9-1））を受講します。

#### 4. 支援世帯訪問

- ① 事務局で支援世帯とサポート一との訪問希望日のマッチングを行い、訪問日を依頼します。
- ② 訪問日は原則として10月の土曜・日曜となり、サポート一3名一組で数件の支援世帯を訪問します。
- ③ 当日、会場（松山市美沢1-9-1）へ集合し、事前説明を受けた後、事務局が用意した自動車へ備品を積み込み、支援世帯宅へ移動します。（サポート一は、認定証、ビブスを貸与します）

#### 5. 支援内容

- ・ 家具転倒防止器具の取り付け、防災用品の提供、防災情報の提供、アセスメントなどの支援を行います。（チェックシートに従い、支援を行い、記録は貸与するタブレット（iPad）に残します）

### 新たな備えサポート一募集要項

## 2-2 サポーター養成の流れ

サポーター養成は以下の手順で行われる。

1. サポーター登録希望者は QR コードまたは直接、  
matsuyama@sonaetai.net へ空メール（件名、  
本文なしメール）を送る



登録用 QR コード

2. サポーター登録希望者へ自動返信メールでサポーター登録  
フォームの URL を通知
3. サポーター登録希望者はサポーター登録フォームに入力、  
kintone（クラウドデータベース）の「サポーターDB」に  
自動登録される
4. 登録後、自動返信メールで動画研修ページが届き、  
動画による研修を各自行う



動画視聴研修ページ

新たな備えサポート隊

松山サポーター登録フォーム（2025年度）

氏名（必須）  
姓ふりがな（必須）  
生年月日（必須）  
一以降から選択してください…  
年  
月  
日  
性別（必須）  
○男 ○女 ○その他  
郵便番号（必須）  
住所（必須）  
電話番号（必須）  
資料・測定（いづれかを選択ください）  
○地域の先生 ○社会福祉士 ○大学生 ○大学生（既卒資格所持） ○実行委員会所属  
○その他  
所属先（先生は大学名を記入、社会福祉士は相続名、実行委員会所属は団体名を入力）  
■登録会員登録の場合はOCM（例）IF「ゆめ・みらい住まいの創造かん」（松山市美沢1-6-1）となります  
会場までの移動手段（いづれか選択ください）  
○自転車 ○自家用車 ○公共交通機関 ○徒歩  
■支援会への登録は事務局が開設した自動登録（自動登録用は事務局で登録）を用います

サポーター登録フォーム

5. 事務局で実技講習会参加日程を調整後、登録者に通知
6. 実技講習会に参加後、「新たな備えサポート隊」サポーターとして認定



社会福祉士による福祉のアセスメント講習



家具転倒防止器具取付実技

## 2-3 動画視聴研修

サポーター登録希望者は最初に動画視聴研修を受ける。研修 Web ページ掲載の研修動画(4本) 視聴と自己採点による理解度テストを終了後、自己採点で十分理解ができたと各自が判断した時点で動画研修完了となる。

「新たな備えサポーター」研修ページ

<https://sonaetai.net/matsuyama/tr28504c2/>

視聴する動画は以下の4本で当活動に必要な知識・スキルを習得する内容となっている。

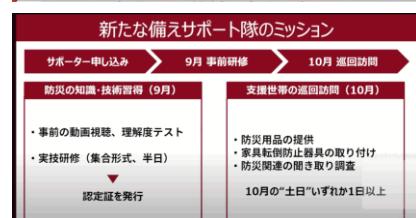
### 1. 研修動画 基礎編 1

「新たな備え」が必要となる背景とめざす目標、「新たな備えサポート隊」の活動概要について学びます（動画約8分）。



### 2. 研修動画 基礎編 2

「新たな備えサポート隊」の活動内容と活動の流れについて学びます（動画約15分）。



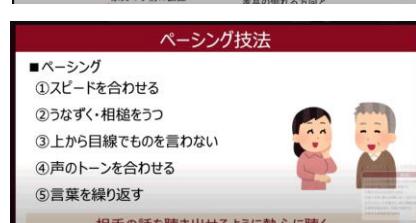
### 3. 研修動画 実技編

突っ張り棒等、転倒防止器具の取り付け方法と支援世帯訪問時の活動詳細について学びます（動画約10分）。



### 4. 研修動画 コミュニケーション編

支援世帯の方への応対において必要なコミュニケーションの技法・注意点を学びます。（動画約8分）。



動画視聴後、動画内容の理解度テストとして動画の内容に関連する8問の選択式テストを受ける。自己採点で十分理解ができたと各自が判断した時点で動画研修完了となる。

## 2-4 実技講習会

実技講習会は約2時間実施し、事業の概要説明、突っ張り棒等の取り付け講習、アセスメント（生活状況確認）、訪問時の応対、実際の訪問で求められる知識・スキルを実践的に学んだ。

時間	項目	内容	講師
10分	活動説明	背景と経緯説明 訪問時の流れ	ワーキングチーム
30分	訪問時の留意点 アセスメント講習（福祉）	フロー提示 アセスメント項目説明	社会福祉士
15分	アセスメント講習（防災）	アセスメント項目説明 その他事項	松山市役所 市民防災安全課
40分	実技講習	転倒防止棒取り付け実技	DCM（株）
20分	防災用品・持参物について	防災用品の説明 当日持参物の説明	ワーキングチーム
5分	今後の流れ 質疑・応答	派遣活動について 質疑応答	ワーキングチーム

開催プログラム

会場は「DCM株式会社 ゆめ・みらい住まいの創造かん」（松山市美沢1-9-1）で行い、設置の取り付け実技デモンストレーション家具等を用いて効果的な講習ができた。9月27日（土）～29日（月）の3日間で合計5回サポーター研修を実施し、右図の参加が得られた。前年度に研修を受けたサポーターを含めて93名を認定した。

研修日程	参加者数
9月27日（土）PM	12
9月28日（日）AM	14
9月28日（日）PM	10
9月29日（月）AM	14
9月29日（月）PM	12
合計	62

松山市役所職員や社会福祉士等の協力を得て、サポーターに求められる知識、心構え、スキルを学ぶ機会を提供することができた。以下は講習会の様子を示す。



松山市役所職員による防災アセスメント講習



家具転倒防止器具取付実技



ワーキングチームメンバーによる防災用品についての説明

### 3. 新たな備えサポーターの派遣

#### 3-1 サポーター派遣の経緯

今年度は合計 100 世帯への支援実施を目標とし、松山市市民防災安全課の協力により、松山市内の道後、湯築、五明、伊台、湯山、番町、東雲、八坂、潮見、久枝の計 10 地区を今年度の対象地区に選定し、各地区の自主防災組織、民生委員、防災士等を通じて支援の募集を募った。支援申込み用紙を市民防災安全課で取りまとめ、当事務局で支援先情報のデータベース入力や訪問日程の調整を行った。

#### 3-2 サポーター派遣の流れ

サポーターの派遣を 10 月中の土・日・祝日で計 7 日間行った。派遣本部である「DCM 株式会社 ゆめ・みらい 住まいの創造かん」へ集合し説明を受けた後、防災用品取り付けに必要な機材等を事務局で用意したレンタカーに積み込んで指定された地域へ向かった。

現地で民生委員等コーディネーターと合流し、希望があった世帯を訪問して防災用品（主に家具転倒防止の突っ張り棒）取り付けを実施した。防災用品は合計 5,000 円までの範囲で無償提供し、ソフトバンク株式会社から無償貸与を受けた iPad を用いて、訪問世帯や提供した防災用品の情報をクラウドデータベースに記録した。以下にその様子を示す。



出発前の全体ミーティング



11日（土）ボランティア参加のみなさん



家具転倒防止器具取付の様子



防災マップを見ながら自宅の災害の可能性を説明



アセスメント調査の様子



防災用品のお渡し

訪問した世帯には、以下に示す防災用品を提供した。

#### 防災用品 商品一覧

画像	商品名	画像	商品名	画像	商品名
	アイリス 家具転倒防止伸縮棒【S】 KTB-30 ホワイト ※伸縮幅30~40cm		DCM LED調色ランタン E-TL01 (W) 単三電池×4本 (別売)		チューブ付きハブラシ
	アイリス 家具転倒防止伸縮棒【M】 KTB-40 ホワイト ※伸縮幅40~60cm		長期保存水 490ml ※保存期間 製造日より5年		MRディプラスドライSPシート 12枚
	アイリス 家具転倒防止伸縮棒【L】 KTB-50 ホワイト ※伸縮幅60~100cm		三立 缶内カンパン 100g ※賞味期限 製造日より5年		トイレ非常用袋 R-40 10回分
	アイリス 転倒防止接着マット ECT-5054ブルー		えいようかん 300g ※賞味期限 製造日より5年		簡単トイレ袋 ベンリー袋R 5RB1-40 5枚
	スーパークックフロント冷蔵庫用		精常おにぎり 鮭 42g/わかめ 42g/五目おこわ 42g ※賞味期限 製造日より5年 (五目おこわは在庫限り)		備蓄用トイレットペーパー 70m巻

また、協賛企業名が入ったトートバッグをプレゼントし好評を得た。  
なお、こちらは松山市市民活動推進補助金で作成しました。



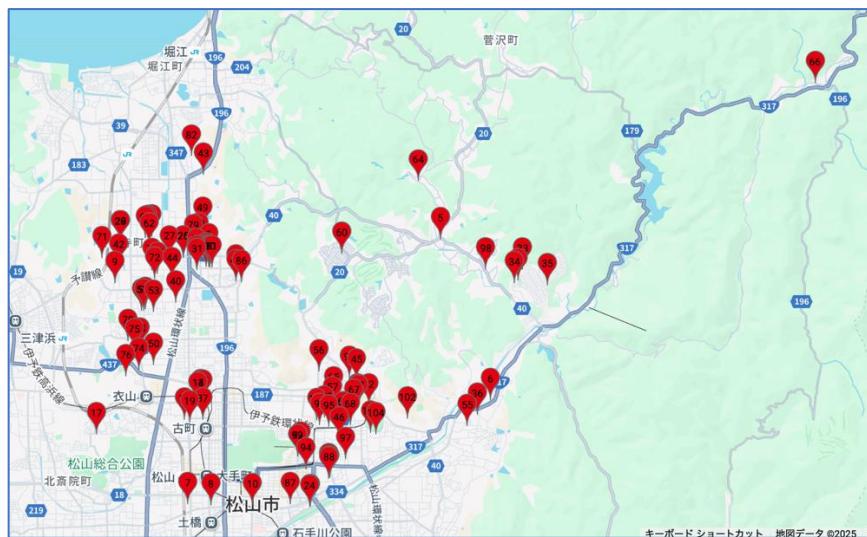
防災用品をお渡しするときに、このトートバッグに入れてお渡ししましたが、それ以外の使用方法としては以下の通り。

1. 防災バッグに入れている期限があるもの、季節ごとに入れ替えるものをこのトートバッグに入れておく。そうすることで、防災バッグの点検の際に忘れずに確認、入れ替えをすることができる。
2. 枕元に靴を置いておくときに、このトートバッグに入れておいておけば汚れを防ぐことができる。

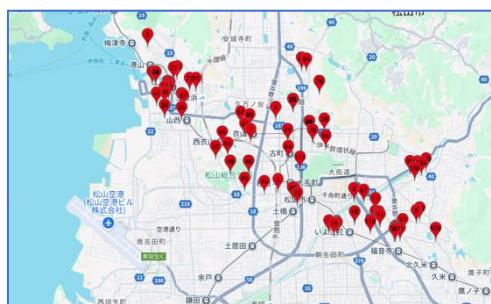
本活動の協賛企業・団体を周知すると同時に、防災用品としても活用できるものをお渡しすることができ、支援世帯の方からは好評を得ました。

### 3-3 サポーター派遣実績

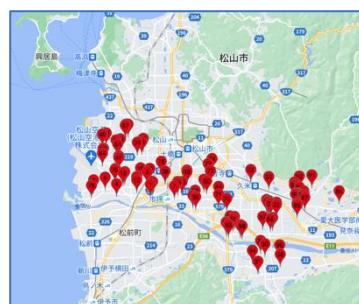
10月の7日間、のべ94名のサポーター派遣を行い、計101世帯に防災用品を取り付けた。下図の赤いピンは訪問世帯を示す。



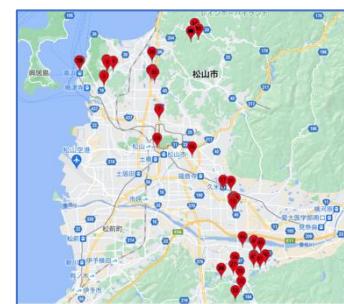
2025年度訪問先一覧



(参考：2024年度実績)



(参考：2023年度実績)



(参考：2022年度実績)

2022年度からの活動実績を以下に示す。

年	2022年	2023年	2024年	2025年
対象地域	松山市内全域	浮穴、石井東、石井西、久谷、久米、小野、余土、垣生、生石、味生 合計10地区	桑原、素鷺、雄郡、新玉、清水、味酒、宮前、三津浜、和気、堀江 合計10地区	道後、湯築、五明、伊台、湯山、番町、東雲、八坂、潮見、久枝 合計10地区
訪問世帯数	56世帯	100世帯	102世帯	101世帯
サポーター人数 (のべ人数)	46名 (76名)	85名 (109名)	118名 (136名)	93名 (94名)

企業名	参加人数
愛媛県中予地区郵便局長会	41
輝城	13
愛媛トヨペット	11
DCM	11
NTT西日本	1
合計	77

協賛企業からも  
合計77名の方に  
参加していただきました！

## 4. 防災アセスメント

支援先世帯の防災に関する状況を可能な範囲で確認し記録する防災アセスメント調査を防災用品取り付けと同時に実施した。松山市市民防災安全課と協働し、アセスメント項目を以下に定めた。サポートーは訪問時にアセスメント項目について聞き取りを行い、iPad を用いてデータベースに記録した。

### 1. 健康

- 世帯状況  
支援認定あり  
介護認定あり  
障害者・療育手帳あり  
難病・傷病者  
外国人  
アレルギー等

### 福祉・医療サービス

- 介護等の福祉サービスを受けている（自宅訪問）  
介護等の福祉サービスを受けている（通所）  
地域包括センターが近くにある  
医療機関へ定期的に通院している  
毎日、服薬している  
医療機関・薬局へは支援者なしで通える  
食事・食品の宅配サービスを利用している

### 在宅医療機器使用

- なし あり  
在宅医療機器  
人工呼吸器 在宅酸素 透析  
インシュリン注射 その他

### 2. つながりの有無（共助）

- つながり  
近所に家族・親戚がいる  
近所づきあいがある  
町内会に友人・知人がいる  
老人会等の活動に参加している

### 3. 支援要請先の認知（公助）

- 支援要請先  
自治体の相談機関を知っている  
地域の包括支援センターを知っている  
地域の民生委員を知っている  
町内会の委員・役員を知っている

### 4. 自宅・周辺の安全状況

- 築年数  
未回答 不明 10 年以内 11～20 年  
21～40 年 41 年以上（昭和 56 年以前）

### 安全対応

- 居間、寝室等、長時間利用する部屋で転倒のおそれ  
がある家具がある

- 地震で設置場所から飛び出すおそれのある大型家電  
製品等（例：テレビ）がある  
災害時に転倒して戸・ドアをふさぐおそれのある家  
具がある  
台所で火を使う調理器具近くの家具が転倒したり、  
ガラスが飛び散って、調理器に 近づけなくなるおそ  
れがある  
玄関や廊下で避難時に障害となる家具等がある  
家具等の転倒で避難経路がふさがれるおそれがある  
手すり、滑り止めシートがない等、階段の昇降にお  
ける課題がある（在宅避難時の安全）  
雨どい、雨水マス、側溝の破損や詰まりが水害時に  
大きな被害をもたらすおそれがある  
プロック塀等で災害時に転倒のおそれがある  
まつやま総合防災マップ等の防災資料がない  
消火器の設置がない  
持ち出し用の貴重品をまとめて袋等に収納していな  
い

### 備蓄対応

- 非常食(3 日間程度)  
飲料水(3 日間程度)  
応急医薬品  
懐中電灯  
携帯トイレ  
モバイルバッテリー（携帯電話用）

### 5. 災害情報の入手

- 災害情報の入手先  
行政の HP やメールサービス  
その他サイト（ニュース、SNS 等）  
回覧板  
テレビ  
ラジオ  
新聞  
行政の配布物  
口コミ・知人から  
地区役員等からの連絡  
学校・幼稚園・保育園等からの連絡  
介護・障害サービス事業者からの連絡  
その他

### アセスメント備考 (自由記述欄)

活動を通じて 97 件の有効な調査結果が得られた。以下に各項目の集計を記載するが、ア  
セスメントについてあくまで可能な範囲で聞き取りを行った結果であり、実態を厳密に  
反映するものではなく、今後の活動についての参考資料という位置づけで掲載するもので  
ある。

## 1. 健康

世帯状況 (N=97、重複回答含む)

世帯状況	レコード数
支援認定あり	21
介護認定あり	10
障害者・療育手帳あり	4
難病・傷病者	2
外国人	0
アレルギー等	7

全体の約 3 分の 1 が支援または  
介護認定有り

福祉・医療サービス (N=97、重複回答含む)

福祉・医療サービス	レコード数
介護等の福祉サービスを受けている（自宅訪問）	15
介護等の福祉サービスを受けている（通所）	21
地域包括センターが近くにある	19
医療機関へ定期的に通院している	60
毎日、服薬している	50
医療機関・薬局へは支援者なしで通える	44
食事・食品の宅配サービスを利用している	14

全体の約 6 割が医療機関へ定期的に通院している

在宅医療機器使用 (N=97)

あり：2 (在宅酸素 1)

2. つながりの有無（共助）(N=97、重複回答含む)

つながり	レコード数
近所に家族・親戚がいる	55
近所づきあいがある	63
町内会に友人・知人がいる	53
老人会等の活動に参加している	19

全体の約 3 分の 2 が近所づき  
あい有り

3. 支援要請先の認知（公助）(N=97、重複回答含む)

支援要請先	レコード数
自治体の相談機関を知っている	24
地域の包括支援センターを知っている	33
地域の民生委員を知っている	63
町内会の委員・役員を知っている	31

全体の 65% が近所の民生委員  
と面識有り

4. 自宅・周辺の安全状況

築年数 (N=97)

築年数	レコード数
41 年以上（昭和 56 年以前）	42
21～40 年	31
11～20 年	10
10 年以内	2
未回答・不明	13

全体の 43% が旧耐震基準の家  
屋に居住

### 安全対応 (N=97、重複回答含む)

安全対応	レコード数
居間、寝室等、長時間利用する部屋で転倒のおそれがある家具がある	55
地震で設置場所から飛び出すおそれのある大型家電製品等（例：テレビ）がある	36
災害時に転倒して戸・ドアをふさぐおそれのある家具がある	24
台所で火を使う調理器具近くの家具が転倒したり、ガラスが飛び散って、調理器に近づけなくなるおそれがある	36
玄関や廊下で避難時に障害となる家具等がある	17
家具等の転倒で避難経路がふさがれるおそれがある	25
手すり、滑り止めシートがない等、階段の昇降における課題がある（在宅避難時の安全）	14
雨どい、雨水マス、側溝の破損や詰まりが水害時に大きな被害をもたらすおそれがある	12
ブロック塀等で災害時に転倒のおそれがある	9
まつやま総合防災マップ等の防災資料がない	39
消火器の設置がない	43
持ち出し用の貴重品をまとめて袋等に収納していない	34

### 備蓄対応 (N=97、重複回答含む)

備蓄対応	レコード数
非常食(3日間程度)	38
飲料水(3日間程度)	51
応急医薬品	37
懐中電灯	70
携帯トイレ	25
モバイルバッテリー(携帯電話用)	11

全体の 57%で転倒のおそれがある家  
具通り、44%の世帯で消火器の設置が  
無い

全体の 39%で非常食、53%で飲料水の  
備蓄有り(3日間程度)

### 災害情報の入手 (N=97、重複回答含む)

災害情報の入手先	レコード数
行政のHPやメールサービス	5
その他サイト(ニュース、SNS等)	17
回覧板	23
テレビ	70
ラジオ	26
新聞	20
行政の配布物	15
口コミ・知人から	9
地区役員等からの連絡	0
学校・幼稚園・保育園等からの連絡	0
介護・障害サービス事業者からの連絡	0
その他	0

災害情報の入手はテレビが  
最も多い

### アセスメント備考（自由記述欄）の記述例

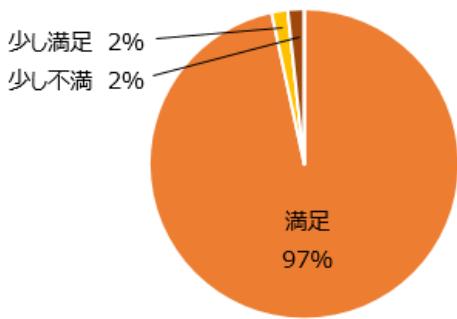
- ・ 避難経路の確認を地域の方としている。
- ・ 息子がたまに見にきてくれる
- ・ この前の大雨の際にベランダ浸水
- ・ 住居は戦前に建ったもので、傾きがある

## 5. 活動の感想・評価

### 5-1 活動の感想（支援世帯）

訪問 101 世帯に対してアンケート実施し、59 件の回答を得た。以下にその内容を示す。

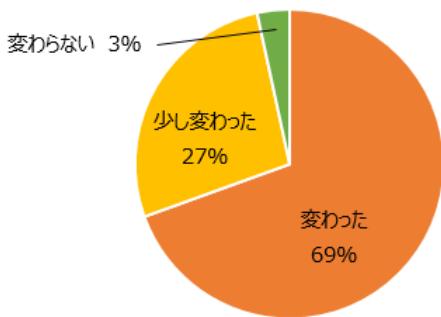
#### 1. 「新たな備えサポート隊」の活動に満足できたでしょうか？



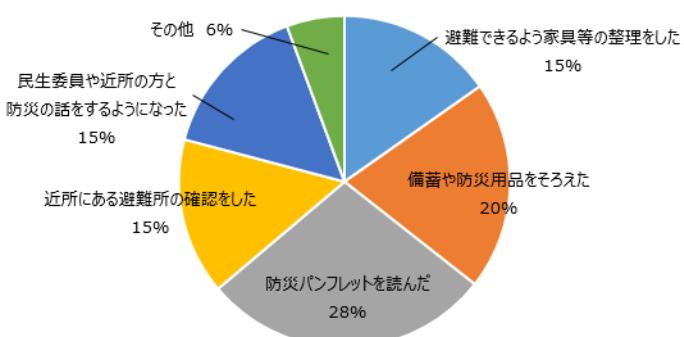
#### 1-2. 良かった点、良くなかった点、その他ご感想をお書きください（抜粋）

- ・説明がわかりやすく助かりました。三人が来て下さいましたがコンビネーションが良く、作業が手早くあっという間に終わりました。
- ・親切に丁寧に取り付けして下さいまして、大満足です。有難うございました。
- ・防災を改めて考える機会になった。
- ・天井に板まで当てた点が良い。
- ・説明、仕事、テキパキと早くて感謝。
- ・家具がしっかりと固定出来て安心です。
- ・天井と食器棚の空間が 15cm 程だった為、すき間にはダンボール等差し込み、物が倒れにくくする方法を教えてもらいました。
- ・自分で出来ない防災補強をして頂き感謝！！防災の相談も出来、新たなグッズも無料で配布を受け、とてもありがとうございました。
- ・防災対策避難については、寝室・リビング等確認して下さり、色々と丁寧に説明して下さり、心強く思いました。感謝 感謝です。
- ・災害に対して一日でも早く品物をそろえていこうと思います。ありがとうございます！
- ・自分一人では出来なかつたことをしていただき、ありがとうございました。
- ・細部までチェックしていただいて、ありがとうございました。
- ・室内が整理されてなく、作業が大変だったと思いますが、気持ちよく処理していただき、上々の出来映えでした。その上、防災用品もいただき有難うございました。
- ・家具が倒れて下敷きになるかもと不安でしたが、その心配がなくなりました。
- ・良くなかった点⇒折角タンス他を固定してくれるのを待っていたのに、家の天井の件で出来ないと言われショックでした。良かった点⇒地震グッズを提供して貰い良かった。
- ・ハザードマップで確認すると自宅付近の浸水の目安が 0.5-3mとなっていて驚いた。  
また、転倒防止器具を自己流で設置していたが、強固に固定され安全性が高まりケガの予防となった。
- ・私の要望をしっかりとお聞きください、大変礼儀正しい方々でした。
- ・防災意識の向上や、人との繋がりを感じられる。安心感に繋がると思う。
- ・直接お話が出来て大変よくわかりました。一人で悩まず、よかったです。ありがとうございました。
- ・保存食以外はトイレ用を主に準備しているので、びっくりなさってほめいただきました。

## 2. 以前と比べて防災への意識や備えは変わりましたか



### 2-1. 変わった、少し変わったと回答された方はそのようなことが変わりましたか (複数回答) 合計 177 回答

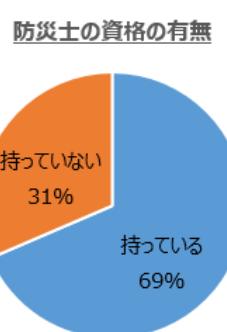
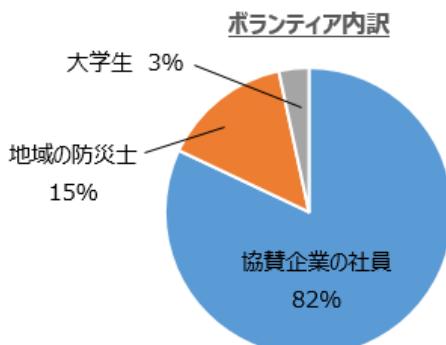


### その他記載事項（抜粋）

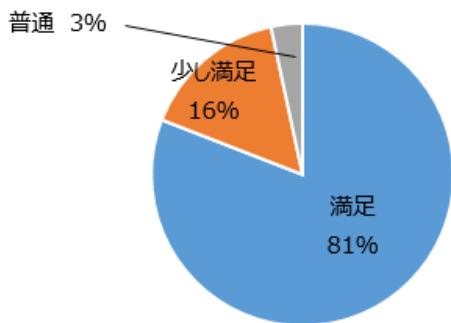
- ・独居老人なので、普段から関心を心掛けている。
- ・消火器の備えなど考えた。
- ・近所の家の転倒防止器具設置をすすめることで、地震の時の避難活動・救助の負担が軽くなる。
- ・新しい情報に自己防衛意識が変わりました。平素より民生委員さんには細やかなお声かけを頂いて居ります。防災用品を頂き、有難うございました。
- ・家の防災用品の中身・場所を家族で再確認した。

### 5-2 活動の感想（サポートー）

サポートーに帰着後、活動の感想を記入してもらい 89 件の回答を得た。



## 1. 「新たな備えサポート隊」の活動に満足できたでしょうか？

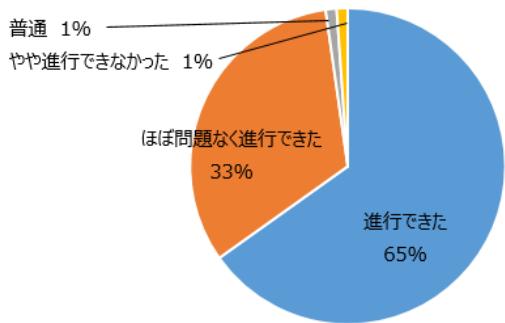


	件数	%
1. 満足	72	81%
2. 少し満足	14	16%
3. 普通	3	3%
4. 少し不満	0	0%
5. 不満	0	0%
合計	89	100%

### 1-2. 良かった点、良くなかった点、その他ご感想をお書きください（抜粋）

- ・訪問先の方がとても感謝してくださいました。
- ・地域のご担当者さまが日頃からサポートしてくださっているので、とても動きやすかったです。
- ・皆さんに感謝されたこと。
- ・役割分担が上手くできることで作業効率が上がりました。楽しかったです。
- ・家具転倒防止器具を取り付けて感謝され活動に参加出来て良かったです。  
ご自宅を事前に確認して行ったが少し迷ったが、ご本人や支援員の方が自宅前に居て助かりました。
- ・企業のサポート（防災用品/企業ボランティア）と事務局の準備が手厚く作業や移動が円滑だった。
- ・いつも喜んでくださるので毎回うれしく感じております。
- ・普段話さないような方々と話せて良かった。
- ・少しでも人助けができると良かった。
- ・どのご家庭でも感謝をされたのが嬉しかった。民生さんがいらっしゃらなかつたので少し心細かったですが、チームの皆さんとの対応で何事もなく終了しました。
- ・訪問先の方に感謝されやってよかったです。民生委員、ケアマネさんがいてくれた方がお互い安心できると思う。
- ・高齢の方と普段できない交流ができて楽しかった。
- ・防災意識が高まり、地域の人にも意識を共有できたので良かった。
- ・防災についての興味関心を示している家が多く、防災用品をしっかり備えていた。
- ・社会貢献ができた。
- ・地域の生の声を聞けた。
- ・いろいろな方の防災への取り組みの話が聞けてよかったです。
- ・民生委員さんが協力的でスムーズに進めることができた。良くなかった点はありません。
- ・訪問後に大変喜ばれて笑顔になっていただきました。とてもよい活動だと思います。
- ・微力ながら地域の安全、安心な社会貢献活動に参加させていただきボランティア活動できました。
- ・よくなかった点は訪問目的がきちんと伝わっていないところ。
- ・今回の活動を通して、防災に対しての意識が個人的にも上がりました。
- ・支援世帯の方が松山市の支援事業と思われていて、詳細な活動内容の趣旨説明が必要だった
- ・時間を持て余す事があったので、なるべく早くまわりたかった
- ・もう少し工具やねじ釘の用意があれば気になるところのお手伝いができた。
- ・防災についていろいろとお話ししができたことがよかったです。思ったよりも防災グッズを備えていらっしゃる方が多く驚きました。
- ・実際の声を聞けることで地域貢献の素晴らしさと防災に対する活動の必要性、地域連携共助の必要性があることを感じます。
- ・活動そのものについては、よかったですと満足していますが、活動の仕方については、検討が必要と感じました。
- ・駐車場があるとなっていたが、聞いていないといわれた
- ・駐車場が離れている。

## 2. 「新たな備えサポート隊」活動はスムーズに進行できたでしょうか

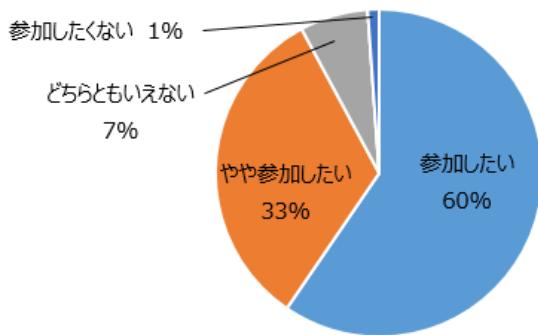


	件数	%
1. 進行できた	58	65%
2. ほぼ問題なく進行できた	29	33%
3. 普通	1	1%
4. やや進行できなかった	1	1%
5. 進行できなかった	0	0%
合計	89	100%

## 2-1. やや進行できなかった、進行できなかったを選択された方は理由をお書きください

- ・時間的要因。訪問先の方がお話好きで、なかなかキリがつかなかった。
- すごく熱心な方だったのでなおさら

## 3. 次年度も活動に参加したいと思いますか



	件数	%
1. 参加したい	53	60%
2. やや参加したい	29	33%
3. どちらともいえない	6	7%
4. やや参加したくない	0	0%
5. 参加したくない	1	1%
合計	89	100%

## 3-1. 上記質問について、選択した理由を教えてください (抜粋)

- ・とてもいい取り組みだと思うから。
- ・予定が空いていれば参加したい。
- ・楽しかった
- ・必要な活動と感じだからです。
- ・有意義な活動であり町内会活動と連携を深めたい
- ・仕事の都合が付きにくい。
- ・やりがいがあったし喜ばれた。
- ・日程と自分の予定次第
- ・災害に自分自身も興味をもったしお客様に喜んでいただけて良かった
- ・今回で2回目。ボランティア活動する機会に恵まれております。
- ・小さい子供がいるため、予定が合えばまた参加したいと思います。
- ・高齢者の方と交流できて様々なことを学べました。
- ・活動自体には大変意義があると思い賛同できる。ボランティアでの参加となるので、勤務との調整が必要である事がやや気掛かりである。
- ・勉強になったから

#### 4. その他感想があればお書きください（抜粋）

- ・素晴らしい取組みです
- ・準備をしっかりとされていたので作業がしやすかったです。
- ・支援世帯のかたの笑顔が見られるので、また機会があれば参加したいと思います。
- ・次年度も参加させてください。
- ・このような機会を頂き、ありがとうございました。
- ・事務局は準備が大変だと思います。
- ・脚立は長いのを2脚準備するのが望ましい。（つま先立ち作業のシーンがあるため）
- ・年々活動に手応えと防災意識の高まりを感じるので活動の継続と盛り上げを期待します。
- ・準備や研修等ありがとうございました。
- ・大変喜んでいただけたので、やって良かったと思う。また参加させていただきたい。
- ・大変意義ある大切な活動だと思いました。
- ・負担のない程度で活動の周知、広報をしてあれば、なお良いと感じている。
- ・防災意識が高まっていることが再認識できてよかったです。また、自身も防災に対して改めて考えるキッカケになって良かった。
- ・高齢者の方が孤独に生活されている中で、情報収集からの生活実態把握に繋がると思いました。

#### 5-3 活動の評価

活動が4年目を迎える今年度も目標世帯数を達成することができました。しかし、今年度は中心地の地区（番町・八坂）や城東エリア（五明・伊台）の支援世帯の募集が難航しました。民生委員を通じての募集以外に、包括支援センターを通じて募集を行いましたが派遣活動当日に同席していただける民生委員の方がいない場合もあり、今年度初めて参加するサポートーは少し難航する場面もありました。しかし、構成団体の企業・団体から多くの方がサポートーとして参加していただき、リピーターとして参加する方大多かったのでチームで協力して活動ができました。活動成果として以下を挙げる。

1. 101世帯を訪問し防災用品の取り付けや防災情報の提供により、新たな備えの推進ができた
2. 93名のサポートー認定を行ってのべ94名を派遣。地域の防災士は松山市の防災士を対象とし13名の方が参加した
3. 「新たな備えサポート隊in松山実行委員会」構成団体の企業・団体からのべ77名のサポートー参加があり、企業・団体での防災意識の向上に寄与した。
4. サポートーのリピート参加者が増加。今年度は36名の方が2回目以上の参加（前年15名）
5. 支援世帯の防災アセスメント調査を行い、支援先家庭の防災等の状況を把握することができた
6. テレビ（あいテレビ、南海放送、NHK松山放送局）、新聞（愛媛新聞）で紹介があり、活動の周知ができた

## 6. 参考資料①（メディアでの紹介）



(上) 9/29 (月) あいテレビ  
夕方のニュース「N スタえひめ」で実技研修の様子を放送

(右) 10/12 (日) 愛媛新聞  
朝刊に派遣活動の様子を掲載

(左下) 10/11 (土) 南海放送  
夕方のニュースと WEB で派遣活動の様子を放送

(右下) 10/30 (木) 南海放送  
「NEWS CH4」の防災特集内で派遣活動の様子を放送



(右) 10/27 (月)  
NHK 松山放送局  
「ひめポン！」で  
派遣活動の様子を放送  
(写真は取材の様子)



#### 7. 参考資料②（募集チラシ）

お家の防災対策を支援します！

# 新たな備えサポート隊 in 松山

● 新たな備えサポート隊 in 松山とは？

松山市内の防災支援が必要な高齢者世帯を、事前に防災研修を受講したボランティアを中心して世帯を訪問し、家具の転倒防止器具の取り付けや備蓄支援など防災対策をサポートする取り組みです。

防災士・企業・大学生のボランティアが  
チームを組んで防災対策をサポート！

松山市で事業展開する企業等の有志が社会貢献の一環で実行委員会を運営しています

< 実行委員会構成団体 >

- (独)あいりん 千葉県下水道庁、NTT日本(株)、愛媛県中央予備防災会議、(財)愛媛GATE、(財)愛媛県防災・減災ネットワーク、(公財)門司組、久保田産業(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、愛媛支店、ソフビック(株)、(有)ダイキアクシス、(有)トヨタテクノシステム、(有)守谷織グローバル、(有)守谷織、日本丸大工芸(株)、愛媛支店、三井住友信託銀行(株)、尾道銀行(株)、(有)ソニマ、松山市立看護専門学校、三井住友信託銀行(株)、松山市役所

(2024年度度会員団体・50団体)

● 対象地区

2025年度は以下の地区、100世帯が対象

①道後	②湯葉	③五明	④伊台	⑤濱山
⑥番町	⑦東堀町	⑧八坂	⑨潮見	⑩久枝

● ご利用の流れ

- ①申し込み  
5月～6月末
- ②日程調整  
7月～8月
- ③訪問・取り付け  
10月（土・日・祝）

松山市 市民防災安全完結  
申込書をお送りください

訪問日程は  
民間委員を通して  
連絡をいたします

家具転倒防止器具の取付、  
地震対策や備蓄のアドバイス、  
アンケート調査などを  
行います

対象者：65歳以上の人一人暮らしで支援が必要な方

※ただし、サポート隊がご家庭に立ち入り、家具転倒防止対策を  
することにご賛同いただける方に限ります（近親者も含む）。

● 支援内容

- 家具の転倒防止器具等の取り付け（自安：1～2ヶ所）
- 防災対策に関する情報提供やアドバイス

※新たな備えサポート隊は実行委員会構成団体からの協賛で行っていますので  
金額で料金を支払っています

1世帯あたり防災用品等、5千円以内の範囲で備蓄提供！

● 昨年の活動の様子

家具転倒防止器具の取り付け

防災用品のお渡し

開催ニーズの聞き取り  
世帯アンケート調査

● 注意事項

- 訪問時間は、申請者の立ち合いが必要です。
- 連絡の構成や家具等の配慮状況によっては、家具転倒防止対策ができない場合があります。
- 器具の取り付けに際しては、家具や天井が破損しないよう万全を期しますが、器具の接地面が傷ついてしまうことがありますのでご了承ください。
- 器具の取り付け前後における家具等の移動や、取り付け完了後の器具の取り外しは  
自己的責任で行ってください。
- 器具の取り付けは、地震などの災害により家具等が転倒しないことを保証するものでは  
ありません。
- 来場報告のため写真的に記録にご協力ください。
- 器具設置後（不具合なし）であれば1ヶ月以内で再訪問します。
- 支援内容以外のサービスは、DCM（株）住まいのヘルパー（有償）をご利用ください。  
防災対策、生活状況に関するアシストにご協力ください。

● 問い合わせ先

「新たな備えサポート隊 in 松山」 実行委員会 事務局（DCM株式会社内）

電話：089-925-1274（担当/中村）  
※電話受付は平日9時～18時、土・日・祝除く

FAX：089-926-0111

メール：sonaeasu@diversityjapan.jp

## 支援世帯募集チラシ

# 新たな備えサポート隊 ボランティア募集!!

● 新たな備えサポート隊とは?

松山市内防災活動支援が必要な高齢者世帯を、事前に松山市役所と連携してボランティアを中心に世話を訪問し、家具の搬入搬出や道具具の貸出し等の備え支援などを防災対策をサポートする取組みです。

2025年対象地区は「道後、通路、五明、伊台、瀬山、番町、東原、八幡、瀬戸、南原、久居」(100世帯)

● 活動内容

山陽クライマーからの申請	2回定期巡回の実施	1回定期巡回の実施	1回定期巡回での訪問	1回定期巡回にて訪問
QRコードより申し込みをお願いします。登録可能な実技研修、派遣活動等を実施して下さい。	定期巡回会合まで活動の基礎知識とコミュニケーションについての動画を見学して下さい。	定期巡回会合では軽自動車防犯知識や、地域の方や防災に関する知識の学習などを行います。	定期巡回会合は1回で行動します。	定期巡回会合は1回で行動します。
QRコードより申し込みをお願いします。登録可能な実技研修、派遣活動等を実施して下さい。	定期巡回会合まで活動の基礎知識とコミュニケーションについての動画を見学して下さい。	定期巡回会合では軽自動車防犯知識や、地域の方や防災に関する知識の学習などを行います。	定期巡回会合は1回で行動します。	定期巡回会合は1回で行動します。

● 日程

★定期巡回日程	★定期巡回日程
⑨月27日(土) 13:30-15:30	⑩月1日(土) 13:30-15:30
⑨月28日(日) 09:30-11:30	⑩月1日(土) 09:30-11:30
⑨月28日(日) 13:30-15:30	⑩月1日(土) 13:30-15:30
⑨月29日(月) 9:30-11:30	⑩月1日(土) 9:30-11:30
⑨月29日(月) 13:30-15:30	⑩月1日(土) 13:30-15:30

上記日程のうち、毎回1回の実施が必要

会員登録:DCH(株)  
1期(中)から1期(高)までの会員登録  
(松山市内1-1 DCH事業会員)

●問い合わせ先

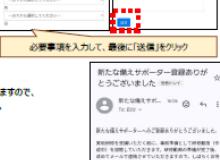
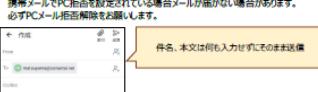
【新たなる備えサポート隊】 松山市実行委員会事務局 (DCH株式会社内)  
電話: 089-925-1274 (松山市内)  
郵便番号: 〒780-0801 松山市平野町1-10  
FAX: 089-926-0111  
メール: sonasup@dchtyourplan.jp  
URL: https://sonasup.dchtyourplan.jp

● 参加要件

- スマートフォンやパソコン等で動画研修を受講し、実技講習会に参加できる方
- 支援担当に面接会まで自力で来られる方
- 原則として70歳までの方

● ボランティア申し込み方法

- QRコード (<http://sonasup.net/matsuyama>) ハイカスル  
募集事項を確認後、申込ボタンをクリック
- 開いたメール送信画面から空メール（件名、本文なし）を送信  
[office@sonasup.net](mailto:office@sonasup.net)からのメールが届きます  
携帯メールでPC画面を設置されている場合メールが届かない場合があります。  
必ずPCメール拒否解除をお願いします。
- 届いたメールに記載されている「登録フォーム」をクリックして、必要事項を入力
- 登録完了メールが届いて、登録は終了です  
その後、実技講習会の開催について連絡が届きますので、  
実技講習会まで各自用意をお願いします。



## サポーター募集チラシ

作成・発行： 新たな備えサポート隊 in 松山実行委員会 事務局（DCM株式会社内）  
E-Mail : [sonaesup@diversityjapan.jp](mailto:sonaesup@diversityjapan.jp)  
URL : <https://sonaetai.net>  
(協力：一般財団法人ダイバーシティ研究所 [office@diversityjapan.jp](mailto:office@diversityjapan.jp))